



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 勤次郎株式会社 上場取引所 東
コード番号 4013 URL <https://www.kinjiro-e.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 加村 光造
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 前畑 岳史 (TEL) 052-485-9300
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,955	28.2	1,166	192.7	1,164	190.0	766	185.9
2024年12月期第3四半期	3,085	7.4	398	△3.4	401	△1.6	268	3.7

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 759百万円(177.3%) 2024年12月期第3四半期 273百万円(7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	39.00	—
2024年12月期第3四半期	13.71	—

(注) 1. 2024年12月期第3四半期及び2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	13,312	9,996	75.1
2024年12月期	12,814	9,370	73.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 9,996百万円 2024年12月期 9,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,320	21.6	1,370	87.7	1,353	84.6	887	45.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	20,840,000株	2024年12月期	20,840,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	1,157,935株	2024年12月期	1,215,620株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	19,655,689株	2024年12月期 3 Q	19,560,445株

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間においても、当社グループの主力製品「Universal 勤次郎」の売上は、クラウド事業での販売が加速し、オンプレミス事業も含めたHRM事業は堅調に推移しており、通期目標達成に向けて着実に前進しております。また、「Universal 勤次郎」は、「労働生産性」の向上と「人的資本」への投資をサポートする「HRMオールインワンソリューション」として、お客様から高い評価を受けております。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

クラウド事業の販売は、市場ニーズが一段と高まっていることから、リカーリングレベニューであるクラウドライセンス売上は2,256,016千円（前年同期比36.3%増）を計上し、事業全体としては2,858,311千円（前年同期比35.3%増）となりました。

また、オンプレミス事業の販売については、大口取引があったこと等により、事業全体としては981,295千円（前年同期比15.6%増）となりました。うちリカーリングレベニューであるプレミアムサポート売上についても、引き続き安定した収益確保に貢献しておりますが、クラウド契約への切替えがあったこと等により、403,787千円（前年同期比5.7%減）となりました。

これらの結果、HRM事業の売上高は3,839,607千円（前年同期比29.6%増）、セグメント利益は1,120,749千円（前年同期比212.8%増）となりました。

また、不動産賃貸事業については、テナントからの賃料収入等により、売上高は206,412千円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は45,288千円（前年同期比13.1%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,955,222千円（前年同期比28.2%増）、営業利益は1,166,038千円（前年同期比192.7%増）、経常利益は1,164,897千円（前年同期比190.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は766,626千円（前年同期比185.9%増）となりました。

当社のマーケットについては、2024年4月に「働き方改革関連法」の時間外上限規制が全業種で適用されたことを契機に、企業における労務・健康管理対応の高度化が不可欠な局面に入っております。加えて、2025年4月・10月には育児・介護休業法改正が段階的に施行され、従業員の柔軟勤務制度拡充、個別意向確認・制度選択肢提示義務化など、企業の制度設計・運用対応能力が問われるフェーズに移行してまいります。

一方、企業価値創造の基盤として「人的資本経営」がますます不可欠なものとなっており、人的資本開示の拡大、多様性／包摂性の重視、リスクリング・キャリア自律支援、従業員ウェルビーイング強化といったテーマが具体的施策レベルで実行段階に入りつつあります。

こうした潮流を背景に、HRMシステムは、ただ労務を効率化する存在ではなく、経営戦略と連動する「人的資本マネジメント基盤」としての転換が求められています。特に、勤怠・人事・健康データを統合し、AI分析による異常予兆通知やエンゲイジメント可視化、健康リスクアラート機能など、テクノロジーを活用した高度な付加価値を提供できるシステムへのニーズが急速に拡大しています。

このような市場環境において、当社の「Universal 勤次郎」は、働き方改革対応・健康経営®支援・人的資本経営を統合できるHRMプラットフォームとしての優位性を一層強化しております。従業員の健康維持とワーク・エンゲイジメントの両立を支えるシステムとして、企業の持続的成長に資する価値提供を目指しております。

（注）健康経営®はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

セグメント別、事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

セグメントの名称	事業区分	金額（千円）	前年同期比（％）
HRM事業	クラウド事業	2,858,311	135.3
	オンプレミス事業	981,295	115.6
	小計	3,839,607	129.6
不動産賃貸事業	—	206,412	96.3
セグメント間の内部売上高	—	△90,796	100.2
合計		3,955,222	128.2

また、HRM事業におけるリカーリングレベニューの内訳、及びHRM事業の総販売実績に対する割合は、下表のとおりです。

	売上区分	金額（千円）	割合（％）
リカーリングレベニュー	クラウドライセンス売上	2,256,016	58.8
	プレミアムサポート売上	403,787	10.5
	その他売上	12,936	0.3
合計		2,672,741	69.6

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ498,588千円増加し、13,312,900千円となりました。

そのうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ428,034千円増加し、5,654,494千円となりました。これは主に、現金及び預金397,364千円の増加、棚卸資産40,710千円の増加があったほか、受取手形及び売掛金24,552千円の減少があったこと等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ70,553千円増加し、7,658,405千円となりました。これは主に、ソフトウェア57,039千円の増加、ソフトウェア仮勘定179,108千円の増加があったほか、建物及び構築物103,448千円の減少、有形固定資産その他68,035千円の減少があったこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ127,686千円減少し、3,316,330千円となりました。

そのうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ80,249千円増加し、1,280,366千円となりました。これは主に、未払法人税等91,560千円の増加、賞与引当金95,624千円の増加があったほか、その他の負債94,563千円の減少があったこと等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ207,936千円減少し、2,035,963千円となりました。これは主に、長期借入金213,997千円の減少があったこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ626,274千円増加し、9,996,570千円となりました。これは主に、四半期純利益766,626千円の計上、自己株式41,687千円の減少があったほか、剰余金の配当168,716千円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までの業績動向を踏まえ、2025年12月期の業績予想につきましては、前回予想（2025年8月12日）から修正しております。詳細につきましては、2025年11月12日に開示しております「2025年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,231,349	4,628,714
受取手形及び売掛金	830,910	806,357
棚卸資産	51,596	92,306
その他	113,065	127,504
貸倒引当金	△462	△388
流動資産合計	5,226,459	5,654,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,940,425	2,836,976
土地	2,384,084	2,384,084
その他（純額）	513,510	445,474
有形固定資産合計	5,838,020	5,666,536
無形固定資産		
ソフトウェア	1,018,154	1,075,194
ソフトウェア仮勘定	245,048	424,156
その他	9,169	8,831
無形固定資産合計	1,272,371	1,508,182
投資その他の資産		
投資有価証券	50,987	51,150
その他	427,641	433,981
貸倒引当金	△1,169	△1,444
投資その他の資産合計	477,459	483,687
固定資産合計	7,587,852	7,658,405
資産合計	12,814,312	13,312,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,872	53,026
1年内返済予定の長期借入金	260,647	249,996
未払法人税等	201,062	292,622
賞与引当金	5,113	100,737
前受収益	281,768	285,894
その他	392,652	298,089
流動負債合計	1,200,116	1,280,366
固定負債		
長期借入金	1,915,342	1,701,345
退職給付に係る負債	156,476	169,470
資産除去債務	47,669	47,896
その他	124,412	117,252
固定負債合計	2,243,899	2,035,963
負債合計	3,444,016	3,316,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099,300	4,099,300
資本剰余金	4,056,450	4,056,450
利益剰余金	2,302,697	2,894,647
自己株式	△1,100,911	△1,059,224
株主資本合計	9,357,535	9,991,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	113
為替換算調整勘定	12,759	5,284
その他の包括利益累計額合計	12,759	5,397
純資産合計	9,370,295	9,996,570
負債純資産合計	12,814,312	13,312,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,085,241	3,955,222
売上原価	1,279,993	1,248,571
売上総利益	1,805,247	2,706,650
販売費及び一般管理費	1,406,904	1,540,612
営業利益	398,343	1,166,038
営業外収益		
受取利息	174	2,640
受取保証料	6,399	6,092
受取補償金	8,241	—
その他	1,064	1,057
営業外収益合計	15,880	9,790
営業外費用		
支払利息	8,502	7,468
その他	4,083	3,462
営業外費用合計	12,585	10,931
経常利益	401,638	1,164,897
税金等調整前四半期純利益	401,638	1,164,897
法人税等	133,458	398,271
四半期純利益	268,179	766,626
親会社株主に帰属する四半期純利益	268,179	766,626

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	268,179	766,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,614	113
為替換算調整勘定	2,014	△7,475
その他の包括利益合計	5,629	△7,362
四半期包括利益	273,809	759,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,809	759,263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	HRM事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,961,597	123,643	3,085,241	—	3,085,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	90,616	90,616	△90,616	—
計	2,961,597	214,260	3,175,857	△90,616	3,085,241
セグメント利益	358,294	40,049	398,343	—	398,343

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	HRM事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,839,607	115,615	3,955,222	—	3,955,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	90,796	90,796	△90,796	—
計	3,839,607	206,412	4,046,019	△90,796	3,955,222
セグメント利益	1,120,749	45,288	1,166,038	—	1,166,038

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	632,166千円	651,856千円